

項目				委員質問・意見	事務局回答@部会	太字意見に対して今後の方針	
部会1全般				<p>【鶴田委員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施策全体に共通することであるが、対象者へどのような働きかけを行っているかが見えてこない。 ・市HPを見ても容易に探している施策を見つけることができない。 ・どの施策が自社(個人含む)の課題の解決につながるものかを容易にアクセスできるような市HPへ改善すべき。 ・追加資料にある第2期地域雇用活性化推進事業実績数は素晴らしいと思うが、就職希望者全体の何%程度になっているのかをデータとして出して欲しい。 <p>【野上委員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・報告のあった第2期地域雇用活性化推進事業実績数と実際の実人数との乖離はどの程度あるのか。 	<p>【産学振興課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・容易に目につくような形で改善ができないか検討する。 ・実績数が就職者全体のどの程度の割合になるかについては円卓会議に資料として提出する。 ・企業からの回答については、後追調査などを行いほぼ100%の回答となっており、乖離はない。しかしながら、求職者については電話やメールだけでなく往復はがきも使って調査しているが、回答いただけない方もおり、乖離はある。 		
1-1	市内企業の雇用促進	1-1-1	市内企業と求職者のマッチング強化	<p>(1) 市内企業と求職者の出会いの場の創出</p> <p>① 合同会社面談会 (産学・雇用)</p>	<p>【鶴田委員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実績指標にある就労者数はどのように把握しているのか。 ・課題にSNSや市のHPを活用して周知するという記載があるが、SNSのフォロワー数やHPへのアクセス数はどのようになっているのか。 <p>【田中委員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雇用創造協議会のHPやSNSを上手く活用できていないのではないか。そもそも協議会の存在を知らない人も多いのではないか。 ・市HPやSNSより制約が少ないと思われる協議会のHPやSNSを活用の方が効果的ではないか。 	<p>【産学振興課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加企業へのヒアリングや求職者個人への照会を行っている。しかしながら、未回答の求職者もいるため実際の就労者数とはずれがある。 ・手元に資料を持ち合わせていないため、円卓会議で回答する。 ・記載内容を修正する。 	<p>【産学振興課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も市のHPやSNSだけでなく、飯塚地域雇用創造協議会のHPやSNSと合わせた周知を行い、より多くの参加者を確保していきたい。 ・追加資料参照: R6業種別雇用数・SNSアクセス数調べ ・追加資料参照: R6求人・求職状況
				<p>(2) 市内企業と大学生の出会い・交流の場の創出</p> <p>② 産学官交流促進事業 (産学)</p>	<p>【鶴田委員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実績指標にある就労者数はどのように把握しているのか。 ・課題にSNSや市のHPを活用して周知するという記載があるが、SNSのフォロワー数やHPへのアクセス数はどのようになっているのか。 ・市HPやSNSより制約が少ないと思われる協議会のHPやSNSを活用の方が効果的ではないか。 	<p>【産学振興課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加企業へのヒアリングや求職者個人への照会を行っている。しかしながら、未回答の求職者もいるため実際の就労者数とはずれがある。 ・手元に資料を持ち合わせていないため、円卓会議で回答する。 ・記載内容を修正する。 	
		1-1-2	市内企業の魅力向上支援	<p>(1) 市内企業の魅力創造・向上の強化</p> <p>① 嘉飯桂産業振興協議会事業 (人材育成事業) (産学)</p>	<p>【鶴田委員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象に企業が無いが対象外なのか。 ・成果と課題の記載内容が誤りではないか。 ・今後の事業の方向性や改善策に魅力あるセミナーを実施とあるが、実施している内容は市の産業構造に沿った内容になっていないのではないか。その辺りも参加者数に影響しているのではないか。 ・産学官交流・共働促進事業を実施しているが、その内容の記載が無いように思う。 <p>【河委員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この事業が市内企業と求職者のマッチング強化に分類、整理されているが、ニーズ金の内容から判断すると人材育成に分類、整理して他の部会へ移すことの検討も必要ではないか。 	<p>【産学振興課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象となる。加筆修正を行う。 ・他の事業の内容となっているため、修正を行う。 ・現在は中小企業の労働生産性を上げていくためにDXが必要と判断しており、DX関連のセミナーが多くなっている。 ・産学官交流・共働促進事業については、そもそも個別事業シートが無いため追加して作成する。 ・コロナ禍以前は、セミナー終了後に軽食を準備した交流会を実施していたため、現在の分類、整理になっている。 	<p>【産学振興課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象、成果、課題の修正を行った。 ・他の部会へ移すことはせずに今後も市内企業と求職者のマッチング強化に分類、整理した部会1で進捗管理を行う。 ・現在施策シートの無い産学官交流・共働促進事業については、今後追加で施策シートを作成し、市内企業と求職者のマッチング強化に分類、整理した部会1に加え、人材育成に分類、整理した部会3の両方で進捗管理を行う。
				<p>(2) 市内企業の経営力・採用力の強化</p> <p>① 採用力強化講習会 (雇用)</p>			
	1-1-3	多様な人材の雇用促進	<p>(1) 多様な働き方に関するセミナーや研修の強化</p> <p>① 求職者支援事業 (多様な働き方に関するセミナーや研修の強化) (商工)</p>	<p>【鶴田委員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実績指標がセミナー開催数になっているが、参加企業数や参加者数へ修正をお願いします。 	<p>【商工観光課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実績指標の修正を行う。 	<p>【商工観光課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種セミナーのうち3つをピックアップし、参加者数と相談件数に修正した。 ・解雇・雇止め集中相談会は県から開示されている実績が参加者数ではなく相談件数となっているため、その実績を記載した。 	
			<p>(2) UIJターン人材・即戦力人材獲得に向けた支援強化</p> <p>① UIJターン説明会・相談会 (雇用)</p>				
			<p>(3) 外国人材の活用促進</p> <p>① 外国人材受入環境整備事業費補助金 (国際)</p>	<p>【鶴田委員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国人材が2041人との記載があるが、市内で働いている外国人の方が2041人いるとの認識でよいか。 	<p>【国際政策課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2041人は外国籍の大学生を含んだ数になる。 ・表記を外国籍の人数へ修正を行う。 		<p>【国際政策課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国人材ではなく市内在住の外国籍の人数の誤りであったため、施策シートの表記を修正した。
			<p>(4) アクティブシニア人材の市内企業向け紹介制度の強化</p> <p>① 福岡県生涯現役チャレンジセンター (商工)</p>	<p>【鶴田委員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・そもそもチャレンジセンターの存在を知らない人も多いのではないか。様々な施策を展開しても知らない人が多いため、その活用件数も伸びないのではないか。 ・施策情報へ容易にアクセスできるような情報発信の工夫が必要。 			

				項目	委員質問・意見	事務局回答@部会	太字意見に対して今後の方針		
1 飯塚を担うヒトづくり	1-2	就職促進	1-2-1	市内企業と求職者のマッチング強化 (1-1-1再掲) (2)市内企業と大学生の出会い・交流の場の創出	①合同会社面談会 (雇用)				
					②デジタル人材と企業のマッチング促進事業 (雇用)				
					①つなぐカフェ@飯塚 (産学)				
					②インターンシップ推進協議会事業 (産学)				
					③大学生への説明会・面接会 (雇用)				
					④大学生の企業訪問事業 (雇用)				
					(1)ワンストップサービスセンターe-ZUKAでの就労相談実施	①ワンストップサービスセンターe-ZUKA事業 (商工)	【鶴田委員】 ・そもそもワンストップサービスセンターe-ZUKAの存在を知らない人も多いのではないか。 ・ ワンクリックで施策情報を入手できるようにシンプルな設計にしてみようか。 【谷川委員】 ・施策の周知方法はどのようになっているか。 【田中委員】 ・ 市公式LINEのメニューに就職や就労相談を入れてみようか。性別や年代ごとに発信できるため効果的。	【商工観光課】 ・市の施策だけでなく、国や県の施策の一覧表を作り、HPで周知するような形をとりたい。円卓会議において資料として提出する。 ・市公式LINEのメニュー追加については検討する。	【商工観光課】 ・市情報管理課に確認した結果、飯塚市LINEは、LINEで申請・完結できる機能(検診やイベントの予約機能等)、多くの利用者に該当する機能(市役所窓口混雑状況やコミュニティ交通、休日当番医等)などを実装しており、現在このタブ画面は12マスすべてを使いきっているため、LINEのメニューに就労支援事業を追加することは難しいとのことでした。しかしながら、間もなく市ホームページのリニューアルが行われ、担当課で親サイトから独立したサイトの作成が可能となるため、市ホームページのリニューアル後はワンクリックで就労支援施策情報を入手できるような設計にしたいと考えている。
					(2)市内企業に関する情報提供機能の強化	①求職者支援事業(飯塚市内企業に関する情報提供機能の強化)(商工)	【鶴田委員】 ・そもそもワンストップサービスセンターe-ZUKAの存在を知らない人も多いのではないか。 ・ ワンクリックで施策情報を入手できるようにシンプルな設計にしてみようか。 【谷川委員】 ・施策の周知方法はどのようになっているか。 【田中委員】 ・ 市公式LINEのメニューに就職や就労相談を入れてみようか。性別や年代ごとに発信できるため効果的。	【商工観光課】 ・市の施策だけでなく、国や県の施策の一覧表を作り、HPで周知するような形をとりたい。円卓会議において資料として提出する。 ・市公式LINEのメニュー追加については検討する。	・追加資料参照: 雇用関係団体一覧
					(1)市内企業と学校とのキャリア教育の連携強化	①キャリア教育 (産学)	【谷川委員】 ・参加する学校は毎年変更となっているのか。 ・学校側からの要望によるものか。 【田中委員】 ・穂波庁舎の3階にある生涯学習ひろばとの関係はあるか。 【河委員】 ・重要な事業だと思う。継続して実施するべき。	【産学振興課】 ・校長の裁量によるところが大きい。校長が異動した先の学校で継続実施している。 ・福岡県中小企業家同友会の協力のもとに実施している。 ・事業への参加は学校からの要望になる。 ・生涯学習ひろばで実施している事業は小学5年生と中学1年生を対象としており、お仕事体験やお金を稼ぐ体験、一般家庭の生活設計を体験する内容になっている。全国でも4つ程度の事例しかなく、特徴的な取り組みになる。	
					(2)市内大学と連携したリカレント教育の促進				
				(3)地域経済での女性の活躍促進	①テック×デザイン講座 (産学)		【産学振興課】 ・個別事業シートの記載内容の大半が令和5年度の内容となっていたため、資料差し替え。		
				(1)小中高大連携によるデジタル人材の育成	①デジタル人材育成事業 (雇用)				

項目					委員質問・意見	事務局回答@部会	太字意見に対して今後の方針
1-3	人材育成	1-3-2	デジタル人材の育成	(2) 求職者のデジタルスキル向上強化	<p>【鶴田委員】</p> <ul style="list-style-type: none"> 全4回の講習で仕事に活かせるようなスキルを身に付けることが可能なのか。 講習会に参加するにあたって、能力レベルの目標等はあるのか。 <p>【河委員】</p> <ul style="list-style-type: none"> 求人企業が求める能力レベルの習得が可能な内容か。 求人企業が求めている講習内容になっているのか。 <p>【田中委員】</p> <ul style="list-style-type: none"> 採用された企業の業種は。 <p>【谷川委員】</p> <ul style="list-style-type: none"> 講習会参加者を求人企業に紹介する仕組みが必要ではないか。仕組みが無いとなかなか採用にはつながらないと思う。 	<p>【産学振興課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業者側にアンケートを取り、必要としているスキルが身に付けることができる内容を設定している。 求人企業、参加者ともにアンケートを実施しており、満足度は高いとの回答を得ている。 現在、厚労省に申請している事業計画でも企業のDX化を支えるような人材育成につながるようなセミナー内容を計画している。 採用された企業の業種については手持ちの資料がない。円卓会議で資料として提出する。 	【産学振興課】 ・追加資料参照: R6業種別雇用数・SNSアクセス数調べ
				② 学び増し人材育成講習会 (産学・雇用)	<p>【鶴田委員】</p> <ul style="list-style-type: none"> 全4回の講習で仕事に活かせるようなスキルを身に付けることが可能なのか。 講習会に参加するにあたって、能力レベルの目標等はあるのか。 <p>【河委員】</p> <ul style="list-style-type: none"> 求人企業が求める能力レベルの習得が可能な内容か。 <p>【田中委員】</p> <ul style="list-style-type: none"> 採用された企業の業種は。 <p>【谷川委員】</p> <ul style="list-style-type: none"> 講習会参加者を求人企業に紹介する仕組みが必要ではないか。仕組みが無いとなかなか採用にはつながらないと思う。 	<p>【産学振興課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業者側にアンケートを取り、必要としているスキルが身に付けることができる内容を設定している。 求人企業、参加者ともにアンケートを実施しており、満足度は高いとの回答を得ている。 現在、厚労省に申請している事業計画でも企業のDX化を支えるような人材育成につながるようなセミナー内容を計画している。 採用された企業の業種については手持ちの資料がない。円卓会議で資料として提出する。 	
				③ DXリーダー育成講習会 (産学・雇用)	<p>【鶴田委員】</p> <ul style="list-style-type: none"> 全4回の講習で仕事に活かせるようなスキルを身に付けることが可能なのか。 講習会に参加するにあたって、能力レベルの目標等はあるのか。 <p>【河委員】</p> <ul style="list-style-type: none"> 求人企業が求める能力レベルの習得が可能な内容か。 <p>【田中委員】</p> <ul style="list-style-type: none"> 採用された企業の業種は。 <p>【谷川委員】</p> <ul style="list-style-type: none"> 講習会参加者を求人企業に紹介する仕組みが必要ではないか。仕組みが無いとなかなか採用にはつながらないと思う。 	<p>【産学振興課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業者側にアンケートを取り、必要としているスキルが身に付けることができる内容を設定している。 求人企業、参加者ともにアンケートを実施しており、満足度は高いとの回答を得ている。 現在、厚労省に申請している事業計画でも企業のDX化を支えるような人材育成につながるようなセミナー内容を計画している。 採用された企業の業種については手持ちの資料がない。円卓会議で資料として提出する。 	
	1-3-3	グローバル人材の育成	(1) 姉妹都市との交流を通じた学生の人材育成	① グローバル人材育成研修事業 (国際)	<p>【鶴田委員】</p> <ul style="list-style-type: none"> 成果に個別名称の記載があるが、掲載するのであればその概要の記載も必要。 この事業と事後活動グループの関連を市民が分かるようにした方がいい。 <p>【河委員】</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業への応募者数はどの程度か。 事業への参加と事後活動のグループへの加入をセットにしてみてもどうか。難しいようであれば、成果(参加後の事例)などを示すような工夫も必要ではないか。 事業参加者が研修参加後どう変わったなどのデータの蓄積は必要ではないか。 <p>【野上委員】</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業参加者に飯塚の魅力を発信してもらいたいと思うが、どのような発信を行っているか。 	<p>【国際政策課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 概要の記載については検討する。 毎年50名程度の応募者数になっている。 データの蓄積についてはアンケート等で行っている。 事前研修の中で魅力を発信するような内容を組み込んで実施し、現地研修の際に披露するようなプログラムとしている。 	【国際政策課】 ・施策シートの概要欄を修正した。 ・本事業と事後活動グループの関連を市民が分かるようにした方が良いとの意見につきましては、グループの運営を行っているスタッフへ共有する。
				② 姉妹都市交流事業 (国際)			

項目		委員質問・意見	事務局回答@部会	太字意見に対して今後の方針		
部会2全般		<ul style="list-style-type: none"> ・施策全体に共通することであるが、対象者へどのような働きかけを行っているかが見えてこない。 ・円卓会議の委員と協力してより具体的な働きかけ方を検討して欲しい。 ・産業振興ビジョンを市HPで容易に閲覧できる階層へ修正をお願いしたい。 ・施策毎に検討部会を作れば、より実効性のある取り組みになると思う。 	<p>【産学振興課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業振興ビジョンのHP上での階層が深いのは事実。トップページは難しいが、浅い階層への記事の移動を検討したい。 			
2-1	新規事業創出・事業拡大・第二創業(企業の新陳代謝)の促進	2-1-1	<p>新技術・新製品・新商品開発助成の強化</p> <p>(1)新技術・新製品・新商品開発促進に向けた助成の強化</p> <p>①新技術・新製品開発補助金(産学)</p>	<p>【鶴田委員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在実施している広報はどのようなものがあるか。現在の広報に課題を感じているのか。 ・せっかくいい施策を実施しても対象となる中小企業に届いていない印象。 ・円卓会議委員も含めて一緒に広報については考えていく必要があると考える。 <p>【吉原委員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予算の執行率はどうなっているか。 	<p>【産学振興課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月発行の商工会議所の所報、商工会の会報合わせて約2,800社。メルマガで約300社。産業支援機関(飯塚研究開発機構と福岡ソフトウェアセンター)や市のインキュベーション施設の入居企業への周知。その他はホームページ。 ・経済部の施策に限ったことではなく、市の施策全般でうまくPR出来ていない。この点は改善していく必要がある。 ・2,500千円の予算に対して、820千円の支出。執行率は約33%。 	<p>【産学振興課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・約5,000の市内事業所に対して3,000以上の事業所に直接的なアプローチを行うとともに、市HPや市報でも周知を行っているものの、認知不足は否めないため、周知方法については是非お知恵をいただきたい。
		2-1-2	<p>産学官連携などによる研究開発の推進</p> <p>(2)医工学連携の推進</p> <p>①医療・福祉関連機器開発支援事業費補助金(産学)</p>			
		2-1-2	<p>(3)大学との連携促進に向けた窓口の設置・情報発信の強化</p> <p>①大学コンシェルジュ(産学)</p>	<p>【鶴田委員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成果に今後の予定が記載されているので修正が必要。 ・第2期産業振興ビジョンの期間(2023年~2027年)と個別事業シートの実績指標の年度にずれがある。 	<p>【産学振興課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後の事業の方向性や改善策への記載へ修正する。 ・過去の実績を記載することで対象事業の成果を見ていただく意味で3年間の実績を記載する様式としている。また、産業振興ビジョン以外の計画でも進捗管理を行っているなど様々な状況であるため、すべてを産業振興ビジョンに合わせることは困難。 	<p>【産学振興課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成果に今後の予定が記載されていた部分については、今後の事業の方向性や改善策へ修正記載した。
		2-1-3	<p>国内・海外ビジネス展開の推進</p> <p>(1)国内外の販路開拓に取り組む市内企業支援の強化</p> <p>①販路開拓支援補助金(産学)</p>	<p>【吉原委員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予算の執行率はどうなっているか。 	<p>【産学振興課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3,000千円の予算に対して、2,835千円。執行率は約95%。 	
		2-1-3	<p>②海外展開支援事業費補助金(国際)</p>	<p>【吉原委員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予算の執行率はどうなっているか。 	<p>【国際政策課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・900千円の予算に対して、526千円。執行率は約58%。 	
		2-1-3	<p>③海外販路開拓事業(国際)</p>	<p>【鶴田委員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この事業は、食品製造業に限定した内容なのか。記載内容を見ると食品製造業のみを対象とした事業と受け取りかねない。 	<p>【国際政策課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食品製造業に限定したものではなく、海外での販路拡大や海外進出を考えている市内事業者を対象としている。記載内容については、修正を検討する。 	<p>【国際政策課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海外販路開拓事業の2024年度事業については、食品製造業のみの事業であったため、施策シートの対象欄に追記した。
		2-1-4	<p>先端情報技術の推進</p> <p>(1)先端情報技術(ブロックチェーン等)の開発・導入の推進</p> <p>①先端情報技術開発支援補助金(産学)</p>	<p>【鶴田委員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・概要に記載の※部分は誤記か。 ・今後の事業の方向性や改善策にブロックチェーンの活用にある課題解決等、事例を示すセミナー等を開催とあるが、市内企業の大半がブロックチェーンのことを理解できていないし、どこに聞けばいいかも分からない状況。 ・この補助金はブロックチェーン開発事業者対象であるなら一般的な中小企業には関係ないように感じる。市内に開発事業者はどの程度あるのか。 ・県とも連携して進めている事業になるので、もっと県との連携を強め、一般的な中小企業での活用事例が増えるように分かりやすい言葉や具現化できるような言葉を使って進める必要がある。 	<p>【産学振興課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・記載ミスのため削除する。 ・市職員でも概念は理解していても技術的な部分は理解できていないのが現状。 ・公的証明書の電子交付、飯塚プレミアム応援券、市内の駐車場での入退場などで活用している事例はあるが、実証実験段階。千葉県柏市などの他の地域では、導入が進んでいる。 ・市内にあるブロックチェーン開発事業者は2社。その2社のみが対象となっているわけではなく、一般的な中小企業の申請も可能。昨年はワーキングはセがわが活用。 	<p>【産学振興課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存技術との比較や活用事例などを用いて、分かりやすい説明を行い、理解促進を図っていきたい。
		2-1-4	<p>②先端情報技術実証実験サポート事業(産学)</p>			
		2-1-4	<p>③ブロックチェーン研修会(産学)</p>			

項目					委員質問・意見	事務局回答@部会	太字意見に対して今後の方針			
2-2	生産性向上	2-1-5	経営相談・支援	(1)事業の継続・拡大に向けた相談窓口の設置及び支援(売上拡大、経営改善、資金調達、事業承継、M&A等)の実施	①よろず相談窓口における経営相談(産学)	【鶴田委員】 ・個別相談件数のみではなく、相談内容の内訳の共有を前回の円卓会議で意見していた。 ・ 県が実施しているのであれば、相談内容の内訳の市への共有をお願いして欲しい。	【産学振興課】 ・市が直接実施している事業ではなく、県が実施しており相談内容の内訳は把握できていない。 ・県へ確認を行い、相談内容の内訳の共有を依頼する。	【産学振興課】 ・福岡県よろず支援拠点から相談内容に関する資料の提供を受け、相談内容の分類を実施 ・追加資料参照: R6飯塚よろず個別相談相談内容・分類		
				②事業承継・後継者育成事業(商工)	【林田委員】 ・セミナー参加者が伸び悩んでいるとの記載があるが、参加者数(実績)はどのようになっているのか。 【鶴田委員】 ・今後の事業の方向性や改善策の記載に身近な成功事例とあるが、市で把握できている成功事例はあるか。 ・ 把握できていないのであれば、把握して事業を活用する中小企業が増えるように工夫して欲しい。	【商工観光課】 ・ セミナーではなく、個別相談会の誤り。 個別相談会は3名の実績。 ・成功事例の把握はできていない。	【商工観光課】 ・施策シートに記載していたセミナーについては、個別相談会に修正した。 ・事業承継については、国が設置している福岡県事業承継・引継ぎセンターについて市のホームページなどで周知を行い、他市での成功事例の紹介を行うとともに、市内での成功事例が把握できましたら併せて周知を行っていききたいと考えている。			
	2-2	生産性向上	2-2-1	設備投資の促進支援	(1)生産性向上に資する生産設備向け支援の実施	①設備投資に係る固定資産税特例(企業)				
					(2)市内企業のデジタル導入・経営効率化に向けた支援の実施	①デジタル化による事業拡大講習会(産学)	【鶴田委員】 ・実績指標に参加企業数45社、雇用者数86名とあるがこの事業に参加した45社で新規に雇用了数が86名ということか。そうであるなら、いい成果だと思う。	【産学振興課】 ・その通りである。		
			2-2-2	デジタル化・経営力強化支援	(1)市内企業間のネットワークづくりの強化	②デジタル化における伴走型支援及び好事例・ノウハウの展開(産学)	【鶴田委員】 ・実績指標で3社の実績となっているが、この実績で成果に記載のあるような地域企業へ広く展開することができたと言えるのか。少ないように感じる。 ・今後は支援企業を増やすことも検討して欲しい。	【産学振興課】 ・3か年で伴走支援をした企業数になる。計画していたとおりとなり、少ないわけではない。		
					(2)商業等施設間の回遊性の促進	①周遊商業エリア連携事業(商工)				
	2-3	産業間・企業間の連携促進	2-3-1	域内企業間取引の拡大	(1)市内企業間のネットワークづくりの強化	①嘉飯桂産業振興協議会事業(産学)				
					(2)誘致企業への市内企業の紹介(企業)	【鶴田委員】 ・対象に既存立地企業とあるが、以前の円卓会議で市内の企業との回答があった。誤って認識されてしまうので改めて修正をお願いしたい。	【産学振興課・代】 ・市内に存在している企業のこと。 ・ 所管課へ市内企業等への文言修正を指示する。	【企業誘致推進課】 ・施策シートの文言修正を行った。		
			2-3-2	商業等施設間の連携促進	(2)商業等施設間の回遊性の促進	①地元ブランド化推進事業(特産)				
					(1)6次化を目指す農林事業者等と興業種のマッチング支援の実施	①農泊推進事業(農林)	【鶴田委員】 ・市内の農泊事業者数はどの程度か。 ・推進事業ということであれば増やしていく動きも必要ではないか。 ・ 市内でお金を落としてもらうためにということを前提として取り組んで欲しい。	【農林振興課】 ・市内の農泊事業者は現在1者。参入するような動きはなく、現状維持の状態。	【農林振興課】 ・他市が実施しているような修学旅行者等を一時的に受け入れる通過型観光ではなく、長時間の滞在と消費を促すことで、持続的な収益確保を目指す農泊事業を支援していく。	
	2-3-3	農業の活性化	農業の活性化	(2)農業と観光の資源を活用した農親連携の推進	①水田農業DX推進事業(農林)					
				(3)ICT等を活用したスマート農業の推進						

項目				委員質問・意見	事務局回答@部会	太字意見に対して今後の方針	
3	3-1	創業・起業促進	部会3全般		<ul style="list-style-type: none"> ・成果は出ていても個別の事業シートの実績数値では見えてこないものもあるはずなので、関連する他の事業との相乗効果で評価できるような方法について検討をして欲しい。 ・椛本小学校では小学校のクラス数が増えていることから、飯塚市は若い世代にとって住みやすいまちなのではないか。企業誘致をする際に独身の方や若い世代に訴求するような施策やPRを行って欲しい。 	<p>【産学振興課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一例を挙げるとインキュベーション施設に入居した企業に先端情報技術開発補助金を案内し実際に活用されたり、スマートアプリコンテストの入賞者が市内で起業したり、サテライトオフィスを開設した企業が飯塚市を実証フィールドとして活用して事業を展開するなど、様々な事業で連携しながら成果を上げている。 ・今後も個別事業ごとに成果を求めていくのではなく、各部署で実施している事業を連携させて成果を求めていきたい。 <p>【企業誘致推進課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業誘致促進補助金のメニューにも定住を促すものもあるし、別の部局にはなるが移住定住を推進している。移住をしてもらうには教育の充実ということが必要なので、そのあたりについては担当部署と連携しながらPRを行っていく。 	
			(1) 創業支援のための融資・助成の実施	<p>①飯塚市中小企業支援融資制度(中小企業融資資金)(商工)</p>	<p>【各事業シート共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実績指標において、当初の想定に対して実績はどのようになっているか。 <p>【林田委員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・融資利率の変更は予定されているか。 	<p>【商工観光課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10件の制度利用を目標値として実施したが、目標の倍を超える利用があった。 ・実績値からも中小企業者や創業希望者のニーズがあることが判断できるため、引き続き金融機関等と連携し、本融資制度の周知を行っていく。 ・年度途中での融資利率の変更は難しいが、今後の動向を見ながら検討していく。 	<p>【商工観光課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規創業支援資金融資制度の融資利率については、今のところ変更の予定はありません。
			創業支援制度の構築	<p>②新規創業者等支援事業費補助金(商工)</p>	<p>【各事業シート共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実績指標において、当初の想定に対して実績はどのようになっているか。 	<p>【商工観光課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商店街の空き店舗を減らしていくことを目標としており、数値目標の設定は行っていない。 ・令和6年度においては令和5年度から3件の空き店舗が増加した。引き続き空き店舗ツアーの、関連セミナーの開催、創業者等支援補助金等の周知を進めていく。 	
			(2) インキュベーション及び産業支援施設等の活用促進	<p>①インキュベーション施設の活用促進(産学)</p>	<p>【各事業シート共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実績指標において、当初の想定に対して実績はどのようになっているか。 <p>【田中委員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インキュベーション施設の利用促進や活用促進に向けたPRはどのようになっているか。 <p>【荒木委員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他自治体との競合の状況は。 	<p>【産学振興課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・80%以上の入居率を目指して事業を進めている。 ・コロナ禍やその後オンラインで業務に取り組むことも一般的になってきたことをはじめ、社会状況の変化により、市内にある他のインキュベーション施設の入居率も減少傾向にある。サテライトオフィスとして入居していた企業が1回目の更新のタイミングで退去されている事例が多く、そのあたりも入居率の減少に影響している。 ・起業を検討している大学生向けの周知や首都圏の企業に対してサテライトオフィスとしての活用などを提案し、周知を行っている。 ・福岡市などは別格かと思うが、県内でインキュベーション施設を運営している自治体は少ない。 	<p>【産学振興課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・起業を検討している大学生向けの周知や首都圏の企業に対してサテライトオフィスとしての活用などを提案し、周知を継続する。
			ワンストップ窓口の設置	<p>①起業家育成事業(産学)</p>	<p>【各事業シート共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実績指標において、当初の想定に対して実績はどのようになっているか。 	<p>【産学振興課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業との交流会は、学生参加者数30名を目標として実施しており、令和6年度は目標値は超えた。 ・個別相談件数は目標値の設定は行っていないが、令和6年度は起業相談に加えてキャリア相談が増加した。 	
(1) スマートアプリコンテストの開催	<p>①スマートアプリコンテスト事業(産学)</p>	<p>【各事業シート共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実績指標において、当初の想定に対して実績はどのようになっているか。 	<p>【産学振興課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標値の設定は行っていないが、令和6年度からは市内の小中学生を対象とした部門も新たに設けたことにより多くの参加につながった。 ・しかしながら、市内に九州工業大学情報工学部や近畿大学産業理工学部があるにもかかわらず、両大学からの参加が少ないことが課題となっている。 				
起業家及び技術者コミュニティの育成支援	<p>①創業セミナー(商工)</p>	<p>【各事業シート共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実績指標において、当初の想定に対して実績はどのようになっているか。 <p>【岡松委員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周知を強化することで起業や創業が増加するのか、それとも起業や創業を希望する人自体が減少しているのか。 	<p>【商工観光課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商工会が実施するセミナーで定員を20名に設定している。 ・ここ2年間は定員に達していないため、更なる周知の強化を図っていく。 ・セミナーを受講せずに創業される方や金融機関等で相談されている方も一定数いるため、周知の強化が起業や創業の増加に直結するとは言い難い。 				

項目					委員質問・意見	事務局回答@部会	太字意見に対して今後の方針
3-2	企業誘致	3-2-1	企業誘致の推進	(2)若年層、女性、農業者を含む市民向け起業塾の開催拡大	<p>【各事業シート共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> 実績指標において、当初の想定に対して実績はどのようになっているか。 <p>【林田委員】</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業名を創業塾から創業セミナーへ修正をお願いします。 《事務局回答補足》セミナーの申込み自体は20件あったが、当日キャンセルが3件あったため17件となっている。周知に苦慮しているが、市(商工観光課)の協力を得ながら実施している。隣組回覧が有効だと感じている。 フリーペーパーへの掲載や広告をうつなどを行ってきたが、予算的に厳しい状況になっている。 <p>【岡松委員】</p> <ul style="list-style-type: none"> セミナー受講の年齢層はどのようになっているか。 創業することだけでなく、空き店舗を活用するとさらに特典や優遇措置があるといったような他事業の連携も必要ではないか。 	<p>【商工観光課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 商工会議所が実施しているセミナーで定員を20名に設定している。 セミナーに関しては令和5年度と比較すると減少しているため、周知方法を見直し、定員に達するように努める。 創業個別相談会に関しては目標設定がしづらい内容となっている。3日間の個別相談会のうち、2回以上参加することで国の支援が受けられることが出来る内容。 創業セミナーに関しては年齢層はバラバラ。最近の傾向としては、若い世代の方よりも年齢層の高い方が多い。 若い世代に関しては、セミナーで学ばれて創業する方は少ない印象。 現在でも他事業と絡めて数か月間の家賃補助という形での補助金を交付したりしている。活用されている方もいるが、定着率が低いのが現状。 	<p>【商工観光課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 施策シートに記載していた創業塾を創業セミナーに修正した。 空き店舗を活用した創業については、家賃や広告宣伝費を対象とした新規創業者等支援補助金があります。それ以外に空き店舗を活用した創業への特典や優遇措置等につきましては、飯塚商工会議所、商店街関係者の方と検討していきたい。
				(1)工場等に移転・設置した企業向けの助成(工場等設備投資・雇用助成等)の実施	<p>【各事業シート共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> 実績指標において、当初の想定に対して実績はどのようになっているか。 	<p>【企業誘致推進課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 目標値の設定は行っていないが、実績指標として新規常用従業員数、投下固定資産額、新規誘致企業数を掲げており、ここの実績としてあがってくる数値が大きければ大きいほど、地域経済の活性化につながる指標となっている。 	
				(2)企業立地用地の整備・確保	<p>【各事業シート共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> 実績指標において、当初の想定に対して実績はどのようになっているか。 	<p>【企業誘致推進課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 現在は市内の工業団地の空きがなく、ほぼ埋まっている状況。 オートレース場の駐車場跡地を工業団地として整備し、開設しており、2区画あるうちの1区画が空いている状況。 令和10年度の供用開始を目標に筑穂地区で整備を進めているが、供用が開始されると一旦工業団地の整備は落ち着く形になる。 	
3-2-2	首都圏での企業誘致活動実施	<p>【各事業シート共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> 実績指標において、当初の想定に対して実績はどのようになっているか。 <p>【岡松委員】</p> <ul style="list-style-type: none"> 工業団地の整備にあたっては、物流関係もふまえて対応されていると思うが、生活道路となっている道路や道幅が狭い道路もあるので交通事故や渋滞発生の可能性が高い。200号線や八木山バイパスに直接つながるような道路の整備は計画されているか。 	<p>【企業誘致推進課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新規誘致企業数を実績指標として設定している。 企業誘致用地としての市の土地が少ない状況にあるので、民間が所有している工業団地内の土地や工業団地以外の民間の土地を活用しながら新規誘致企業の受け皿となるような土地の確保を行っている。 筑穂地区で整備している工業団地のメインの道路は200号バイパスとなる。八木山バイパスにおいても4車線化されることで、これまで事故により完全通行止めになっていたことは解消されると思う。 	<p>【企業誘致推進課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 筑穂地域工業団地造成事業について、国道200号には当該工業団地に接している県道90号穂波嘉穂線及び県道65号筑紫野筑穂線が接続しており、また八木山バイパスには国道200号及び県道90号を経由し県道60号飯塚大野城線が接続しています。道路幅員も比較的広いことから、現時点では当該敷地内での整備計画となっています。 今後、当該事業が進んでいく中で物流や通勤等による影響を注視し、福岡県や市都市建設部との情報共有及び関係部署とも協議しながら進めていきたい。 			